

令和元年度高知県小規模林業推進協議会・通常総会・第1回協議会

○日 時 令和元年度 7月31日（水）

○場 所 かんぼの宿伊野

○出席者 58名

会員：会 長 中嶋 健造

副会長 清岡 哲也、森本 和広、高瀬 満伸、宮崎 聖、他25名

**第一部 令和元年度通常総会**

**1 開会**

**2 会長挨拶**

**(中嶋会長)**

どうも、こんにちは。暑い中御苦労さまです。外へ出たらめっちゃくちゃ暑いすな。山へ入る場合、くれぐれも気をつけて、熱中症にならんように気をつけていただけたらと思います。

現在、小規模林業推進協議会の会員は約540名まで増えているということで、どんどん増えていっています。この会員に本当の技術を習得してもらうために、徳島の橋本さんのようなプロに教えてもらうための場を設けようということで、自伐型林業塾という形で活動を始めました。呼びかけをしたら50名ぐらい集まってくれたので、10人ずつくらいで、橋本さんの山に入って一緒に施業するとか、自分の山を見てもらって、作業道をどう付けるのか具体的に教わる場にしたいと思います。

先日、長崎県のある市町村が自伐林業を検討したいということで、訪ねた際に、たまたま自分が会長をしている、自伐型林業推進協議会の会員が1人おりました、自分の施業している山をみてほしいと言うんで訪ねました。その山は50年とちょっとのヒノキが多い森なんです、非常にいい状態になっていました。今回2回目の間伐で収入間伐をしたみたいですが、次の間伐の際にはA材率が上がって、いい収入になるんじゃないかという山でした。

この山の奥にも、同じ時期に木を植えた山があったんですが、最初の間伐の際に事業体に委託して間伐を行ったそうなんです、彼の入れている道より1メートルくらい大きな道が入っていて、路網密度もすごく高い、だから大体4割から5割切っているよう

に見える。ちょっと過間伐になったせいで、非常に光が入って土壤乾燥してしまい、ヒノキなどで一部やや枯れが見えるんですよ、もう茶色くなっている。

四万十ヒノキともそう変わらないぐらいの質がありそうな雰囲気があったんですが、たかだか1回の間伐で、それぐらい変わってくる。一度失敗するともうその森が使いえなくなる。それぐらい変わってくるので、そういう技術、そのための道づくり、そのための間伐の仕方というのをぜひ自伐型林業塾で習っていただきたい。

そういうようなことで、今、夏場でちょっと山へ入るのは控えてる方も多いと思いますが、また秋口から一気に皆さん入っていくと思うので、ぜひ体と事故には気をつけながら頑張ってくださいなということで、今後ともよろしくお願ひします。

### 3 議長選出

高知県小規模林業推進協議会活動規約第13条第3項の規程に基づき、中嶋健造会長が議長に選出された。

### 4 議事

第1号議案 平成30年度事業報告について

事務局からの説明の後、質疑応答が行われ、原案どおり可決された。

第2号議案 令和元年度事業計画について

事務局からの説明の後、質疑応答が行われ、原案どおり可決された。

第3号議案 役員の選任について

事務局からの説明の後、質疑応答が行われ、原案どおり可決された。

### 5 閉会

## **第二部 平成元年度第1回高知県小規模林業推進協議会**

### 6 県からの情報提供

令和元年度支援事業について（高知県林業振興・環境部 予算概要）

## 7 質疑応答

(出席者)

障害保険の加入促進事業についてなんですけども、今年使いたいと思ったんですけど、保険期間が4月1日から3月31日までの間の契約期間の保険しか入れないということですが、その期間の保険会社がないんです。もしあれば教えてください。

(事務局)

対象となる保険会社の紹介は森林組合連合会でもやっていますので、一度問い合わせてみてください。

(出席者)

小規模林業をされる方が、作業道を抜いていくに当たって、どうしてもやっぱり近くに基幹道というものがないとそこから支線を出して行って、自分の山で作業をするということが必要になってきますので、その辺の事業について教えていただきたいです。

(事務局)

現在、市町村や森林組合と一緒に林業専用道をどこに抜いたらいいか検討するための会、林道促進協議会というものを各林業事務所単位で立ち上げております。その会の中で小規模林業者の要望も取り入れながら、こういうふうに開設したほうがいいんじゃないかという場合もあろうことかと思っておりますので、まずは最寄りの市町村の林道担当の方にお話しをしていただければ、促進協議会のタイミングで土台に上がってくるということもあるかと思っております。

(出席者)

分かりました。ただ多分現場ではなかなか小規模林業者とか自伐林家の方の声が吸い上げられてないんじゃないかという感想を持っています。

(中嶋会長)

さっきの作業道の話ですが、山がちょっと遠いところにあると思うんですが、なるべく既存の林道か公道を使ってそこから普通の作業道で行ったほうがいいと思います。とい

うのは、林業専用道というのは林道ほど厳しい規格で作ってないので、最近の豪雨でズタズタになっているんです。吉野なんかではあの急峻な山を2,000ha持っている方が全部細かい作業道で奥まで行くんですよ。あんまり大きい道を入れていく方向よりも、何とかどっか近くにある今の道からアクセスする方向で検討したほうが安全ではないかという気がします。

## 8 閉会

それでは他に質問もないようでしたら、令和元年度の支援事業についての説明のほうはこれで終わらせていただきたいと思います。

以上をもちまして、本日の議事が終了いたしました。

次回の協議会は、先ほども説明があったかと思いますが、10月ごろに例年どおり現地検討会を予定しております。また詳細のほうが決まりましたら会員の皆様にお知らせさせていただきますので、よろしく申し上げます。

なお、お手元にアンケートのほうお配りさせていただいております。事前にいただいている方もおいでになるとは思いますけど、回収ボックスを後ろに置いておりますので、お帰りになる前にアンケートに御記入いただいて、ボックスに入れていただきたいと思います。今後の協議会の活動を発展させるための資料ともなりますので、アンケートへの御協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、本日はお忙しいなか御出席いただきまして、ありがとうございました。これで当協議会を締めさせていただきます。お忘れ物のないようにお帰りください。